

伝統を守る「伊能歌舞伎米研究会」

～地域ブランド米の収量・品質向上を目指して穂肥現地検討会を開催～

印旛農業事務所改良普及課 令和4年7月21日発

成田市伊能地区で生産される「伊能歌舞伎米」は、1.9mm以上の大粒で、低タンパク質で甘みのある食味が特徴のブランド米（コシヒカリ）です。この栽培に取り組む「伊能歌舞伎米研究会」は、毎年その年の生育状況や追肥について検討し、収量・品質向上を図っています。本年度も6月23日に現地検討会が行われ、生産者5名、JA、農薬・肥料メーカー、農業事務所の約20名が参加しました。

当日は、参加者で5か所のほ場を巡回して今年の生育状況を調査後、農業事務所から、例年と今年の生育の比較や穂肥の適期施用について情報提供し検討を行いました。本年は5月上旬ごろの低温・寡照の影響により分けつが遅れましたが、その後は回復がみられ例年並みの生育となりました。農業事務所では、今後もほ場調査によるデータ収集や情報の提供を行い、地域の水稻農家の安定生産に向けた支援を行っていきます。



参加者全員で生育調査



検討会の様子